

第111期 事業報告書

2014年7月1日～2015年6月30日



# ULVAC REPORT 2015

**ULVAC**

証券コード:6728

## トップメッセージ

# 中期経営計画初年度は 計画を上回る実績 財務体質健全化も進展

「一体化」をキーワードに更なる成長を  
目指します



代表取締役執行役員社長

日向久治

## ○2015年6月期の振り返り 計画を上回る利益を達成

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、引き続きスマートフォンが市場を牽引し、それらに搭載される中小型の液晶パネルや半導体、電子部品の出荷が増加しました。液晶ディスプレイ製造装置の設備投資については、期初は各社の投資一巡による一服感が見られ、総じて低調に推移しましたが、後半に投資を再開する動きが出て回復してきました。自動車市場においては、引き続きエコカーなどの販売が好調なことから、カーエレクトロニクス製品をはじめ自動車部品向けの設備投資が堅調に推移しました。

このような事業環境の中、2015年6月期の連結業績は、受注高が1,827億円(前期比7.6%増)、売上高が1,792億円(前期比3.0%増)と、いずれも前期比増加となりました。損益については、営業利益は111億円(前期比7.2%減)、経常利益は125億円(前期比6.8%減)、当期純利益は89億円(前期比23.1%減)と、いずれも前期比減少したものの、当初計画を上回る結果となりました。

### 業績の推移 (単位: 億円)

	(参考) 14/6期	15/6期		
		計画*	実績	前期比
受注高	1,698	1,700	1,827	129 (+7.6%)
期末受注残高	672	622	730	
売上高	1,739	1,750	1,792	53 (+3.0%)
営業利益	120	90	111	△9 (△7.2%)
率	6.9%	5.1%	6.2%	
経常利益	134	85	125	△9 (△6.8%)
率	7.7%	4.9%	7.0%	
当期純利益	115	65	89	△27 (△23.1%)

※2014年8月公表値

## 「フロントローディング」の徹底で、 着実に利益を創出する力が向上

2012年の社長就任から3年、これまでグループ一丸となって取り組んできた事業構造改革により、厳しい事業環境の中でも計画を達成し、着実に利益を創出する力が高まってきたと手応えを掴んでおります。その要因としては、①現状の経営状態を掴む仕組みがしっかりと整備され、万一変調があれば即座に適応することができるようになってきたこと、②計画通りの利益を創出するためのものづくりの体制が構築できたことがあげられます。これは、当社グループが保有する過去のデータや技術仕様など、これまで培った英知を結集し、仕事をする前に徹底的に対策を講じてトラブルのない安定したものづくりを確立する「フロントローディング」を徹底した成果でもあります。これにより、計画以上の利益を創出できるようになってきたと考えております。

## ○2016年6月期の見通し

### 受注高と売上高は中期経営計画通り、利益は上回る予想

中期経営計画の2期目にあたる2016年6月期は、受注高・売上高は中期経営計画通り、利益は上回ると見込んでおります。

今後は、当社グループのさらなる成長を確実なものとするために、「一体化」をキーワードにした経営へと舵を切ってまいります。これまでは、「活性化」をキーワードに「事業構造改革プロジェクト」を推進してきました。これにより、開発・営業・生産セクショのグローバルな連携は高まり、製品競争力や収益力などが高まってきました。今後はそれを一つの方向にまとめ、グループとして最大限の効率を追求し、成果を着実に上げるために「一体化経営」を推し進めてまいります。

## 中期経営計画の進捗 (単位: 億円)

	15/6期 実績	16/6期 予想	17/6期 目標
受注高	1,827	1,900	2,000
売上高	1,792	1,900	2,000
営業利益	111	135	160
率	6.2%	7.1%	8.0%
経常利益	125	125	150
率	7.0%	6.6%	7.5%
当期純利益*	89	95	110

※16/6期・17/6期については、親会社株主に帰属する当期純利益

## ○株主の皆様へのメッセージ

当社は、2012年9月に150億円のA種種類株式を発行し、事業構造改革を鋭意推進してきました。その結果、連結純資産の増加、手元現預金の増加、有利子負債の減少など財務体質の相応の改善が図られ、2014年11月に一部(元本50億円)を取得・消却しました。そして、2015年7月には残存するA種種類株式の全部(元本100億円)についても、取得・消却することができました。

これまでグループ一丸となって取り組んできた事業構造改革により、確実・安定的に収益を確保できる体制が整ってきたこと、A種種類株式の全額償還を実施したことなどから、普通株式における復配の目処がついたものと判断し、2015年6月期は1株当たり10円の配当を実施いたしました。また、2016年6月期につきましては、今後の研究開発投資や財務基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、今後の業績予想や配当性向等を総合的に勘案し、配当は20円増配し30円を予想しております。

当社グループは、これからも皆様の期待と信頼に応える企業として邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 事業別概況

## 真空機器事業

### FPD及びPV製造装置

大型液晶ディスプレイ製造装置や有機EL製造装置に加え、期の後半には中小型液晶ディスプレイ製造装置の受注高が増加しました。



### コンポーネント

FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向けを中心に堅調に推移し、受注高、売上高とも前期を上回りました。



### 半導体及び電子部品製造装置

半導体関連は、モバイルDRAM、NANDフラッシュメモリ用スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が、電子部品関連は、モバイル機器向け高性能デバイス製造装置が寄与し、受注高、売上高とも前期を上回りました。



### 一般産業用装置

自動車部品製造用真空熱処理炉などを中心に、前期を上回る売上高を計上いたしました。



## 真空応用事業

### 材料

主に日本、韓国などの主要パネルメーカーから液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを受注し、前期を上回る受注高、売上高を計上いたしました。

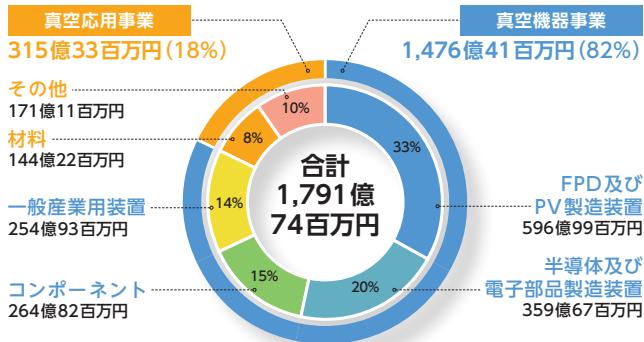


### その他

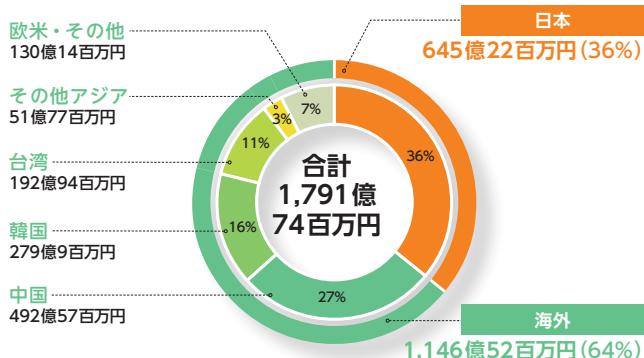
マスクブランクス関連は、スマートフォンやタブレット端末向け及び車載用の半導体向け需要の増加を受け、堅調に推移いたしました。



## 事業別売上高



## 地域別売上高

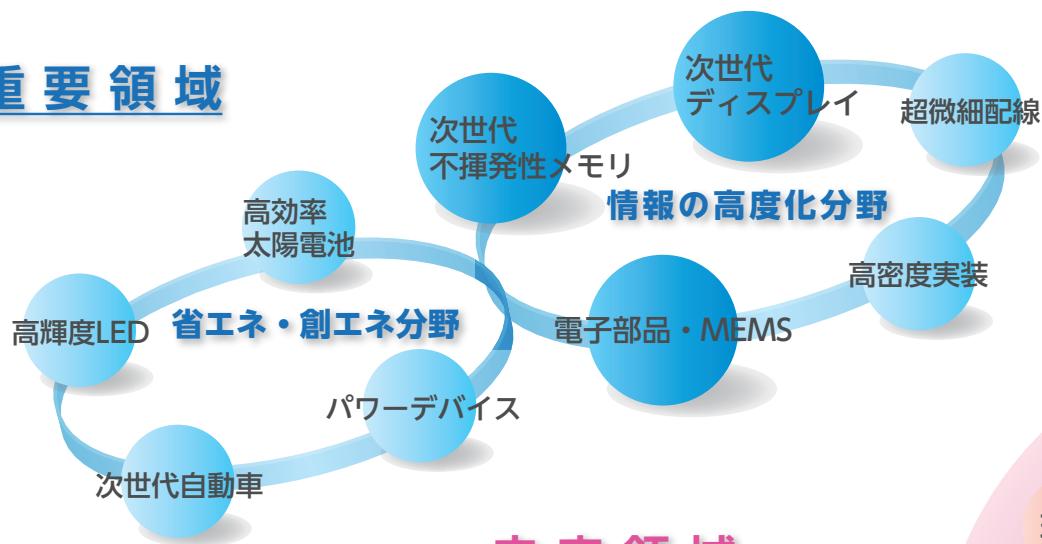


## 開発への取り組み

アルバックは、「真空技術」を探究し、未来が求める新しい価値を創造し、安全で豊かな社会の形成に貢献します

重要領域	<ul style="list-style-type: none"><li>成長・発展する分野のキーテクノロジー</li><li>深刻化する社会問題への技術解決</li></ul>
情報の高度化分野	次世代ディスプレイ(高精細ディスプレイ、フレキシブルディスプレイ) 次世代不揮発性メモリ(大記憶容量・省電力メモリ)、超微細配線 電子部品・MEMS (IoTを支えるデバイス・センサー)、高密度実装
省エネ・創エネ分野	高効率太陽電池、高輝度LED、パワーデバイス、次世代自動車

## 重要領域



## 未来領域

- 変化を先取りする先進性
- 技術を極めることによる付加価値創造

新エネルギー  
環境  
医療

2014  
9

## セラミック玉軸受型ターボ分子ポンプ「UTM300B」を販売開始

アルバックは、排気速度280L/secのセラミック玉軸受型ターボ分子ポンプ「UTM300B」の販売を開始しました。

ターボ分子ポンプは、高真空～超高真空を作るために用いられる真空ポンプです。

近年、用途が多様化していく中で、取り付け方向が自由であること、より小型であること、補助ポンプも小型にできることなどのニーズに対応するため、セラミック玉軸受型ターボ分子ポンプを製品化しました。コントローラとポンプの一体化により省スペースを実現し、取り付け方向に制限が無く、高背圧特性に優れており、補助ポンプの小型化も可能になりました。

従来の磁気浮上型に比べて手頃な価格のため、大学・研究所向けの装置や一般企業向けの小型装置などで好評を得ております。



## CSOT様から特別貢献賞を受賞

アルバックは、中国大手総合家電メーカーTCL集団傘下のパネルメーカー深圳華星光電（CSOT社）様より、2014年度の「特別貢献賞」を受賞しました。

これは、アルバックグループの迅速な対応と部品供給体制が量産安定稼働に大きく貢献したと評価されたことによるものです。表彰式では、TCL集団の李東生会長から表彰とともに感謝の言葉をいただきました。



2014  
10

## 次世代不揮発性メモリ向け成膜装置を受注

NANDフラッシュメモリの置き換えに期待されている次世代不揮発性メモリの製造に用いられるスパッタリング装置を大手半導体メーカーから受注致しました。



2014  
12

## STT-MRAM向け成膜装置を受注

次世代不揮発性メモリの一種であるSTT-MRAMの開発に使用するスパッタリング装置を、大手半導体メーカーから受注し、納入致しました。今後のSTT-MRAMの商品化が期待されます。

2015  
1

## リークディテクタ「HELIOT 900シリーズ」新機種を販売開始

—大型ポンプ搭載モデルでラインアップ拡充—

アルバックは、リークディテクタ「HELIOT（ヘリオット）900シリーズ」の新機種を開発し、販売を開始しました。

2014年6月に発売開始したリークディテクタHELIOT900シリーズに、この度、大型の粗引きポンプモデルを追加し、内容積の大きな検査対象に対してこれまで以上に幅広く対応できるラインアップに拡充いたしました。製品に対する品質向上の全世界的な動きにより、リークテストの市場規模は年々拡大しております。ヘリウムリークテストは、取扱いやすさとリーク検知の簡便さ、感度から、その中心的な手法となっております。HELIOT900シリーズは、各国、各分野で好評を得ており引合いが旺盛になっております。



ULVAC YEAR  
アルバック  
20  
この

2015  
3

### 圧電MEMS用 低温PZTスパッタリング技術を開発

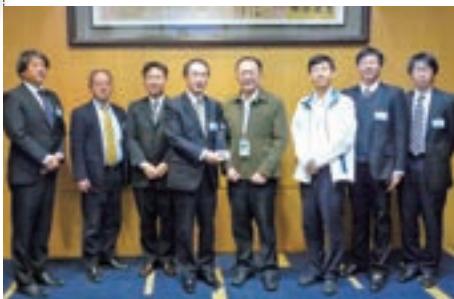
アルバックは、「CMOSへ搭載可能な圧電MEMSデバイス向け量産用低温PZTスパッタリング技術」を開発し、発表しました。この技術は、センサーなどのMEMSデバイスの高性能化、多機能化、小型化に貢献します。PZT薄膜を用いた圧電素子はスパッタリング装置「SME-200」によって一貫形成することが可能であり、長年の研究開発で培ってきたアルバックのPZT成膜技術はその品質と高い信頼性が評価されています。



### AUO様から 2014年度「ベスト装置サプライヤー賞」 を8年連続して受賞

アルバックは、台湾の大手パネルメーカー友達光電(以下、AUO社)様より2014年度の「ベスト装置サプライヤー賞」を受賞しました。

これは、アルバックの先端技術がAUO社の開発ニーズにマッチしただけでなく、アルバックの装置とサービスがAUO社の多くのエンジニアに認められ、評価されたことによるものです。今回の受賞で2007年から8年連続の受賞となり、アルバックの貢献度の高さを物語っています。



2015  
3

### EDO様から 「ベストパートナー賞」受賞

アルバックは、中国のパネルメーカー上海和輝光電(以下、EDO社)様より「ベストパートナー賞」を受賞しました。これは現地での対応が評価されたことによるものです。表彰式では、EDO社の朱総経理から表彰とともに感謝の言葉をいただきました。

### BOE様から 「ベストサプライヤー賞」受賞

アルバックは、中国一の大手パネルメーカー京東方科技集团股份有限公司の合肥鑫晟光电科技有限公司(以下、BOE-B5)様より、2014年度「ベストサプライヤー賞」を受賞しました。

今回の受賞は、アルバックの装置とサービスサポートがBOE-B5様の多くのエンジニアに認められ、良い評価を受けたことによるものです。表彰式ではBOE-B5様陳健工場長から表彰とともに感謝の言葉をいただきました。



2015  
6

### 超伝導加速器用高純度ニオブ材料の 販売を開始

アルバックは、超伝導加速器用高純度ニオブ材料を開発し、販売を開始しました。

純金属の中で超電導になる温度が一番高いニオブ(Nb)は、加速空洞材料として使用されていますが、この度Nbを高純度化するために、当社グループ会社であるアルバック東北株式会社(青森県八戸市)に新設した600kW EB溶解炉を使用し、原料の選別、真空度、溶解スピードなどの条件を最適化することで、RRR>250のインゴットの製造に成功しました。

IN REVIEW  
バック  
14  
一年

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

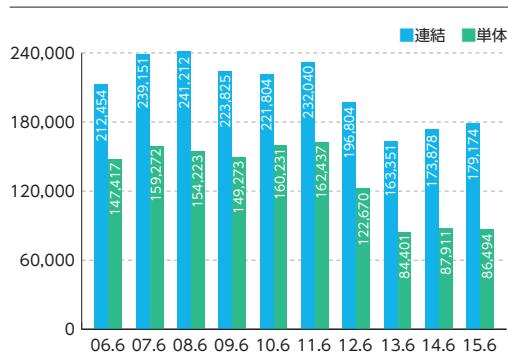
(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2015年6月30日現在	前連結会計年度 2014年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	157,903	145,783
現金及び預金	62,684	57,669
受取手形及び売掛金	56,684	46,341
たな卸資産	32,133	34,352
繰延税金資産	1,620	1,774
その他	5,264	6,006
貸倒引当金	△482	△360
固定資産	84,444	85,008
有形固定資産	65,662	66,901
建物及び構築物	37,623	38,511
機械装置及び運搬具	15,494	15,689
その他	12,546	12,700
無形固定資産	4,625	5,010
投資その他の資産	14,156	13,097
投資有価証券	4,718	4,130
繰延税金資産	1,766	2,384
その他	7,673	6,584
資産合計	242,348	230,791

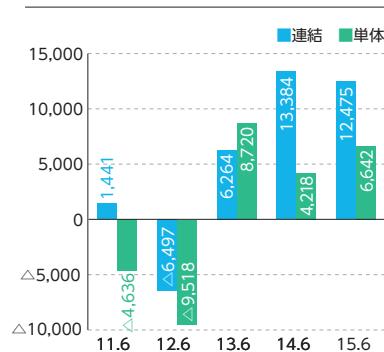
(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2015年6月30日現在	前連結会計年度 2014年6月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	127,277	122,148
支払手形及び買掛金	33,816	28,700
短期借入金	62,844	69,242
その他	30,617	24,206
固定負債	30,142	36,404
長期借入金	19,805	20,364
繰延税金負債	1,590	1,850
その他	8,747	14,191
負債合計	157,420	158,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本	71,908	66,474
その他の包括利益累計額	7,462	908
少数株主持分	5,559	4,856
純資産合計	84,928	72,238
負債純資産合計	242,348	230,791

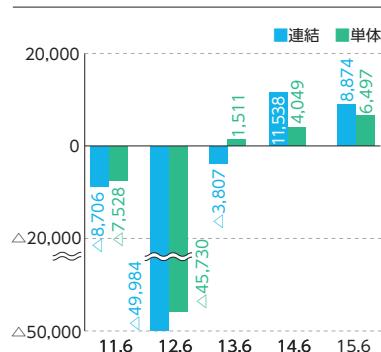
## 売上高 (単位：百万円)



## 経常利益 (単位：百万円)



## 当期純利益 (単位：百万円)



## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで	前連結会計年度 2013年7月1日から 2014年6月30日まで
売上高	179,174	173,878
売上原価	135,710	131,231
売上総利益	43,464	42,646
販売費及び一般管理費	32,331	30,651
営業利益	11,132	11,996
営業外収益	3,818	3,699
営業外費用	2,475	2,311
経常利益	12,475	13,384
特別利益	354	2,471
特別損失	176	718
税金等調整前当期純利益	12,654	15,137
法人税、住民税及び事業税	3,183	2,805
法人税等調整額	13	3
少数株主損益調整前当期純利益	9,458	12,329
少数株主利益	584	791
当期純利益	8,874	11,538

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで	前連結会計年度 2013年7月1日から 2014年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	21,992	32,213
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,055	△3,023
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,895	△16,881
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,616	500
現金及び現金同等物の 増減額	4,658	12,808
現金及び現金同等物の 期首残高	57,012	44,204
現金及び現金同等物の 期末残高	61,670	57,012

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2014年7月1日から2015年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
2014年7月1日 残高	20,873	37,100	8,510	△10	66,474	372	1,925	△1,389	908	4,856	72,238
会計方針の変更による累積的影響額			3,421		3,421						3,421
会計方針の変更を反映した当期首残高	20,873	37,100	11,931	△10	69,895	372	1,925	△1,389	908	4,856	75,659
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当		△1,050			△1,050						△1,050
当期純利益			8,874		8,874						8,874
自己株式の取得				△5,811	△5,811						△5,811
自己株式の消却		△5,811		5,811	—						—
欠損填補		△13,804	13,804		—						—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						346	5,536	671	6,553	703	7,256
連結会計年度中の変動額合計	—	△20,665	22,678	△0	2,013	346	5,536	671	6,553	703	9,269
2015年6月30日 残高	20,873	16,435	34,609	△10	71,908	718	7,462	△718	7,462	5,559	84,928

# 単体財務諸表

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

## 単体貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2015年6月30日現在	前事業年度 2014年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	87,102	81,092
固定資産	70,346	73,008
有形固定資産	37,267	39,626
無形固定資産	3,913	4,304
投資その他の資産	29,166	29,078
資産合計	157,448	154,100
<b>負債の部</b>		
流動負債	89,439	84,737
固定負債	20,818	24,853
長期借入金	18,066	18,803
退職給付引当金	1,488	4,643
その他	1,264	1,407
負債合計	110,257	109,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本	46,511	44,161
評価・換算差額等	679	349
純資産合計	47,191	44,509
負債純資産合計	157,448	154,100

## 単体損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当事業年度 2014年7月1日から 2015年6月30日まで	前事業年度 2013年7月1日から 2014年6月30日まで
売上高	86,494	87,911
売上原価	68,125	71,184
売上総利益	18,368	16,727
販売費及び一般管理費	15,188	14,012
営業利益	3,181	2,714
営業外収益	5,372	3,197
営業外費用	1,910	1,693
経常利益	6,642	4,218
特別利益	390	771
特別損失	151	659
税引前当期純利益	6,882	4,330
法人税、住民税及び事業税	473	376
法人税等調整額	△88	△95
当期純利益	6,497	4,049

## 単体株主資本等変動計算書 当事業年度(2014年7月1日から2015年6月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計						
2014年7月1日 残高	20,873	—	37,100	37,100	529	886	30,206	△45,425	△13,804	△9	44,161	349	349	44,509
会計方針の変更による累積的影響額								2,714	2,714		2,714			2,714
会計方針の変更を反映した当期首残高	20,873	—	37,100	37,100	529	886	30,206	△42,710	△11,090	△9	46,875	349	349	47,224
事業年度中の変動額														
剰余金の配当			△1,050	△1,050							△1,050			△1,050
剰余金の配当に伴う資本準備金の積立		105	△105	—							—			—
固定資産圧縮積立金の取崩						△48		48	—		—			—
当期純利益								6,497	6,497		6,497			6,497
自己株式の取得									△5,811	△5,811	△5,811			△5,811
自己株式の消却			△5,811	△5,811					5,811		—			—
欠損填補			△13,804	△13,804			△30,206	44,010	13,804		—			—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)												330	330	330
事業年度中の変動額合計	—	105	△20,770	△20,665	—	△48	△30,206	50,556	20,301	△0	△364	330	330	△33
2015年6月30日 残高	20,873	105	16,330	16,435	529	838	—	7,845	9,211	△9	46,511	679	679	47,191

# 会社データ／株式の状況

## 会社概要 2015年6月30日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,097名(連結5,904名)

## 役員 2015年9月29日現在

代表取締役執行役員社長	小日向久治
取締役執行役員副社長	坊 昭範
取締役専務執行役員	本吉 光
取締役専務執行役員	末代 政輔
取締役常務執行役員	小田木秀幸
取締役(社外)	御林 彰
取締役(社外)	池田 修三
取締役(社外)	内田 憲男
監査役	高橋 誠一
監査役	伊藤 誠
監査役(社外)	浅田 千秋
監査役(社外)	大塚 一実

専務執行役員	岩下 節生
専務執行役員	山元 正年
常務執行役員	中村 孝男
常務執行役員	白 忠烈
常務執行役員	藤山 潤樹
執行役員	平野 裕之
執行役員	齋藤 一也
執行役員	梅田 彰
執行役員	松本 亮
執行役員	大日向陽一
執行役員	柳澤 清和
執行役員	佐藤 重光
執行役員	蔡 有哲

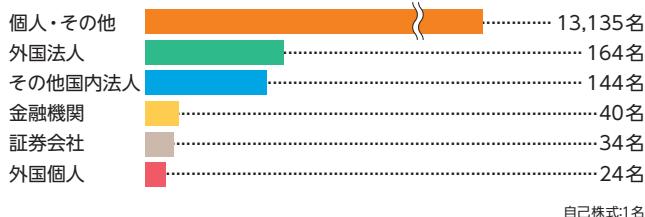
## 株式の状況 2015年6月30日現在

発行可能株式総数	普通株式 100,000,000株
	A種種類株式 1,500株
	B種種類株式 37,500株
発行済株式の総数	普通株式 49,355,938株
	A種種類株式 1,000株
株主数	普通株式 13,542名
	A種種類株式 1名

(注) 2015年9月29日現在、当社の株式は普通株式のみとなっております。

## 所有者別株主数(普通株式)

合計13,542名



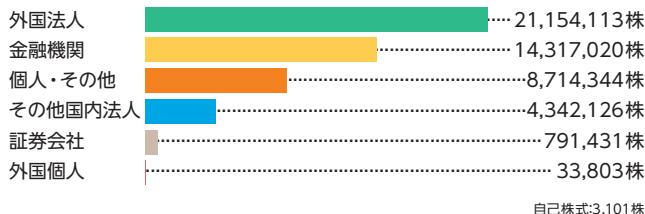
## 大株主(普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
TAIYO FUND, L. P.	6,610	13.39
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
株式会社みずほ銀行	1,916	3.88
株式会社三井住友銀行	1,864	3.78
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505019	1,803	3.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,160	2.35
TAIYO HANEI FUND, L. P.	1,154	2.34
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,026	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	939	1.90
ゴールドマンサックスインターナショナル	926	1.88

(注) 持株比率は自己株式(3,101株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式数(普通株式)

合計49,355,938株



# 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

## 住所変更など諸手続の お申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社への  
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求  
ホームページアドレス  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

## HPのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。



 <https://www.ulvac.co.jp/>

**ULVAC** 株式会社アルバック

本社・工場 〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 TEL.0467-89-2033

